

温暖化防止活動のコンテストです。農林業・商工業・地域活動・学校etc…

京都府内の元気な取組を大募集!



きょうと エコワン ECO-1 グランプリ 2009

参加団体募集中

応募締切 2009年7月31日(金)必着

※6月に綾部市・京都市で応募説明会を開催します。詳しくは次ページをご覧ください。

8月上旬 一次選考

- ①書類選考で決勝に進出する取組を10件選びます。
- ②全ての応募(決勝に進めなかった取組を含む)から温暖化防止のモデルとなる取組5件程度を選び最大10万円の活動助成金を交付する予定です。

※助成金交付対象は非営利民間団体に限ります。

12月6日(日) 決勝大会

京都市アバンティホール(京都駅南側)のステージ上で取組を発表していただき、公開審査でグランプリ・準グランプリを決定!

2010年2月13日(土)、14日(日) 全国大会

決勝大会でグランプリに選ばれた取組は、東京で開催される「ストップ温暖化「一村一品」大作戦」全国大会(環境省主催)に出場します。

主催
お問合せ先

京都府地球温暖化防止活動推進センター

TEL 075-211-8895

E-mail eco1@kcfca.or.jp

後援

京都新聞社・京都府

※この事業は、環境省「ストップ温暖化「一村一品」大作戦」の一環として実施します。



<http://www.kcfca.or.jp/eco1/>

きょうとエコワングランプリ

検索

きょうとE C O - 1 グランプリ

募集する取組例

- 省エネルギーの推進 (省エネ実践・省エネ家電普及など)
- 自然エネルギーの活用 (太陽光・風力・水力・薪炭など)
- つる性植物 (ゴーヤ・アサガオなど) で「緑のカーテン」
- 給食 (病院・施設・学校) や社員食堂で地元産食材を活用
- 地元産食材による郷土料理の推進
- 地元産品 (農林水産物・織物・竹材など) を地元で活用
- 公共交通機関や自転車の利用促進
- ごみ減量 (レジ袋削減・廃食油回収・食器リユースなど)
- 森林・竹林資源を活用した温暖化防止活動
- 温暖化防止につながる環境教育など

※上記以外でも、化石燃料の消費を削減する取組であればOKです。

応募資格

- 府内で温暖化防止に貢献する取組を行っていること
- 12月6日(日)の決勝大会(公開審査)に参加できること
- 団体であること(※法人格の有無は問いません)

例

- 市民団体 (NPO・任意団体)
- 企業
- 学校など (幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学など)
- PTA・保護者会
- 地域団体 (町内会・自治会など)
- 事業者団体 (農林商工業者の組合・協議会・研究会など)
- 学生団体 (学生によるサークル・研究会など)

応募方法

- 右の応募用紙(両面)に記入のうえ、主催者へ郵便・ファクス・Eメールのいずれかでお送りください。
- 応募用紙は下記のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.kcfca.or.jp/ecol/>

応募締切

2009年7月31日(金)必着

応募説明会

■ **6/20(土) 11:00~12:00**

■ **6/26(金) 11:00~12:00**

ハートピア京都 3F 視聴覚室
(京都市地下鉄丸太町下車すぐ)

■ **6/28(日) 11:00~12:00**

バザールタウン綾部アスパ館 2F
アスパホール (JR 綾部駅から徒歩5分)

※3回とも同じ内容ですので、いずれか1回にご参加ください。

※説明会に参加いただかなくてもご応募いただけます。

※資料準備の都合上、前日までに事務局まで参加人数をお知らせください。



2009 参加団体募集要項

実施スケジュール

2009年 7月31日(金)

応募用紙 提出締切(必着)

8月上旬 一次選考

- ①書類選考で決勝に進出する取組を10件選びます。
- ②全ての応募(決勝に進めなかった取組を含む)から温暖化防止のモデルとなる取組5件程度を選び、最大10万円の活動助成金を交付する予定です。

※助成金交付対象は非営利民間団体に限ります。

12月6日(日) 決勝大会

京都市アバンティホール(京都駅南側)のステージ上で取組を発表していただき、公開審査でグランプリ・準グランプリ等を決定!

2010年2月13日(土)、14日(日) 全国大会

決勝大会でグランプリに選ばれた取組は、東京で開催される「ストップ温暖化一村一品大作戦」全国大会(環境省主催)に出場します。

審査基準

- さまざまな人や団体を巻き込んでいるか。
- 先進性や独創性があり、他地域のモデルになる取組であるか。
- 関わっている人や地域が元気になる取組であるか。
- 一過性のイベントに終わらず発展する取組であるか。
- 地球温暖化防止に貢献できるか。

活動助成金について

- 応募いただいた取組のうち、温暖化防止のモデルとなる取組5件程度を選び、最大10万円を交付します。
- 助成金交付対象は非営利民間団体が行う取組に限ります。営利企業や公共団体による取組は対象になりません。
- 決勝に進めなかった取組にも、助成金交付を行う場合があります。
- 助成金の用途は、応募取組の直接経費に限ります。印刷費、消耗品費、郵送費、機材や会場等の賃借費、外部講師への謝金・交通費、府内の活動に参加するための交通費に使えます。人件費、飲食費、団体運営費、汎用的物品(パソコン・カメラ等)には使えません。
- 希望する団体は、応募用紙の「活動助成金を希望する」に○をつけてご提出ください。
- 他の補助金を受けている取組については、電話等でヒアリングさせていただく場合がありますのでご了承ください。

主催・事務局 (応募用紙提出・お問合せ先)

京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

〒604-0965

京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目 283-4

■ TEL: 075-211-8895

■ FAX: 075-211-8896

■ E-mail: eco1@kcfca.or.jp

後援

京都新聞社・京都府

- きょうと ECO-1 グランプリは、環境省「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」の一環として実施します。
- 活動助成金は、京都府「京と地球の共生推進事業」として実施します。

昨年度の応募者の声



京都銀行 広報部 山條 香織さん

「学校で使うトイレットペーパーにはどうして“京都銀行”と書かれているの?」そんな声が、京都や滋賀の児童たちから聞こえてきます。

京都銀行では不要となった文書類をトイレットペーパーにリサイクルして公立

小・中・養護学校 745 校へ寄贈しています。「この取組を皆さんに知ってほしい」そんな思いで応募しました。

結果、多くの方に興味を持っていただくことができ、大変うれしく思っています。また、他団体のユニークな発表を通して、私自身楽しく環境について学ぶことができました。



京都大学生協同組合 京都大学大学院 工学研究科修士 1回生 水嶋 周一さん

レジ袋の削減に、有料化ではなくあえて無料のまま挑戦しました。それに込める私たちの想いを、ぜひ府民の方々にも知ってほしい。そして、普段は学内で行うことが多い大学生協の環境

活動を、より身近に感じてほしいと思い、応募を決めました。

私たちが日ごろの活動を見直し、他の活動からも学ぶことができ、上、光栄な賞（準グランプリ）までいただくことができ、とても貴重な機会でした。ありがとうございました。

めざせ、全国大会!

昨年度グランプリの京都市立雲ヶ畑中学校は、全国大会に出場し、最優秀賞に輝きました。

一昨年度も京都府代表の府立北桑田高等学校森林リサーチ科が最優秀賞を獲得しているため、京都府代表が2年連続の全国一!

受賞後新聞・TV の取材が相次ぎ、全国から注目を集めています。

メディアも注目!

07年度
全国大会の様子



さあ、北桑田高校・雲ヶ畑中学校に続け!

■ 全国大会 Webサイト「ストップ温暖化一村一品大作戦」
<http://www.jccca.org/daisakusen/>



08 年度京都府代表の雲ヶ畑中学校は全国一に!全国大会表彰式の後、さかなクンと記念撮影!

(参考)CO₂排出係数一覧

下記の表で、各取組によって削減できるCO₂の量を算出できます。「CO₂排出係数」に、「取組によって削減される燃料やごみの量」をかけ算して算出してください。(応募用紙への削減量記入は任意です)

項目 (単位)	使用量		CO ₂ 排出係数	=	CO ₂ 量
電気 (kwh)	kwh	×	0.366	=	kg
都市ガス (m ³)	m ³	×	2.1	=	kg
LPガス (m ³)	m ³	×	6.5	=	kg
水道 (m ³)	m ³	×	0.36	=	kg
灯油 (リットル)	リットル	×	2.5	=	kg
ガソリン (リットル)	リットル	×	2.3	=	kg
アルミ缶 (本)	本	×	0.17	=	kg
スチール缶 (本)	本	×	0.04	=	kg
ペットボトル (本)	本	×	0.07	=	kg
ガラスビン (本)	本	×	0.11	=	kg
牛乳パック (本)	本	×	0.16	=	kg
食品トレイ (本)	本	×	0.008	=	kg
ごみ (湿重量) (kg)	kg	×	0.34	=	kg

※排出係数は、電気のみ関西電力平成19年度実績値。その他は環境省発表資料「家庭からの二酸化炭素排出量算定用 排出係数一覧」(平成18年6月更新)より。

取組名			
団体名			
団体連絡先	(〒 -)		
	住所		
	TEL	FAX	Eメール
担当者連絡先	氏名		
	(〒 -) ※担当者連絡先は、団体連絡先と別の場合のみご記入ください		
	住所		
	TEL	FAX	Eメール

■ 取組の概要

取組を開始した時期	年	月頃から
主に取組を行っている地域		
活動内容		

■ 本年度の活動スケジュール(簡単に)

月	内容

■ 「審査基準」を参考に、取組をPRしてください。

審査
基準

- さまざまな人や団体を巻き込んでいるか。
- 先進性や独創性があり、他地域のモデルになる取組であるか。
- 関わっている人や地域が元気になる取組であるか。
- 一過性のイベントに終わらず発展する取組であるか。
- 地球温暖化防止に貢献できるか。

■ この取組によるおおよその二酸化炭素排出削減量がわかればご記入ください。

※記入できる団体のみで結構です。別ページの「CO₂排出係数一覧」をご参照ください

年間削減量	算出根拠（簡単に）
kg-CO ₂ / 年	

■ 非営利の民間団体にお聞きします。 ※該当するものに○をつけてください

① 活動助成金の交付を希望しますか？	希望する ・ 希望しない
② この取組について本年度、他の補助金を受けていますか？または受ける予定がありますか？	はい ・ いいえ
③ ②で「はい」と答えた団体は、補助金の種類をお書きください。（複数受けている場合は全部）	ア 京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金 イ 国の補助金（名称） ウ 市町村の補助金（名称） エ 民間の補助金（名称） オ その他（名称）

※2009年7月31日(金)までに、事務局へご提出ください。

※写真・新聞記事など、活動の様子がわかる添付資料の提出を歓迎します。A4サイズ4枚以内にまとめてご提出ください。